



水道料金の見直しにかかる 市民説明会 資料

2021年11月
豊岡市上下水道部水道課



目 次

1	水道料金改定の概要	…	2
2	水道料金の改定にかかるこれまでの経過	…	6
3	豊岡市水道事業の現状と課題	…	9
4	水道事業における経費削減の取り組みについて	…	18
5	料金改定の考え方	…	23
6	値上げするとこうなります	…	32
7	今後の予定	…	37



1 水道料金改定の概要

水道料金改定の概要

- 改定時期 2022年4月1日
- 平均改定率 17.3%

1 水道料金改定の概要

水道料金表 ※金額は税込

基本料金 (1月につき)	区分		現行単価	→	新単価 (案)	現行単価との比較
	メーター 口径	13mm	704 円		1,056 円	+ 352 円
		20mm	1,408 円		2,090 円	+ 682 円
		25mm	2,860 円		4,257 円	+ 1,397 円
		40mm	10,010 円		14,850 円	+ 4,840 円
		50mm	15,620 円		23,210 円	+ 7,590 円
		75mm	40,700 円		60,830 円	+ 20,130 円
		100mm	77,000 円		114,950 円	+ 37,950 円
従量料金 (1 m ³ につき)	用途		現行単価	→	新単価 (案)	現行単価との比較
	一般	1~10m ³	66.0 円		82.5 円	+ 16.5 円
		11~20m ³	132.0 円		137.5 円	+ 5.5 円
		21~30m ³	137.5 円		143.0 円	+ 5.5 円
		31~50m ³	154.0 円		154.0 円	—
		51~100m ³	214.5 円		214.5 円	—
		101m ³ ~	220.0 円		220.0 円	—
	公衆浴場		71.5 円		77.0 円	+ 5.5 円
	豊岡中核工業団地		77.0 円		82.5 円	+ 5.5 円
	城崎町湯島財産区営浴場		132.0 円		143.0 円	+ 11.0 円

1 水道料金改定の概要

メーター口径、使用水量ごとの料金（一般用途） ※金額は税込

使用水量 (m ³)	メーター口径 13 mm			メーター口径 20 mm			メーター口径 25 mm			メーター口径 40 mm		
	現行料金 (円)	新料金 (円)	現行料金 との比較	現行料金 (円)	新料金 (円)	現行料金 との比較	現行料金 (円)	新料金 (円)	現行料金 との比較	現行料金 (円)	新料金 (円)	現行料金 との比較
0	704	1,056	+ 352	1,408	2,090	+ 682	2,860	4,257	+ 1,397	10,010	14,850	+ 4,840
10	1,364	1,881	+ 517	2,068	2,915	+ 847	3,520	5,082	+ 1,562	10,670	15,675	+ 5,005
20	2,684	3,256	+ 572	3,388	4,290	+ 902	4,840	6,457	+ 1,617	11,990	17,050	+ 5,060
30	4,059	4,686	+ 627	4,763	5,720	+ 957	6,215	7,887	+ 1,672	13,365	18,480	+ 5,115
50	7,139	7,766	+ 627	7,843	8,800	+ 957	9,295	10,967	+ 1,672	16,445	21,560	+ 5,115
100	17,864	18,491	+ 627	18,568	19,525	+ 957	20,020	21,692	+ 1,672	27,170	32,285	+ 5,115
500	105,864	106,491	+ 627	106,568	107,525	+ 957	108,020	109,692	+ 1,672	115,170	120,285	+ 5,115

使用水量 (m ³)	メーター口径 50 mm			メーター口径 75 mm			メーター口径 100 mm		
	現行料金 (円)	新料金 (円)	現行料金 との比較	現行料金 (円)	新料金 (円)	現行料金 との比較	現行料金 (円)	新料金 (円)	現行料金 との比較
0	15,620	23,210	+ 7,590	40,700	60,830	+ 20,130	77,000	114,950	+ 37,950
10	16,280	24,035	+ 7,755	41,360	61,655	+ 20,295	77,660	115,775	+ 38,115
20	17,600	25,410	+ 7,810	42,680	63,030	+ 20,350	78,980	117,150	+ 38,170
30	18,975	26,840	+ 7,865	44,055	64,460	+ 20,405	80,355	118,580	+ 38,225
50	22,055	29,920	+ 7,865	47,135	67,540	+ 20,405	83,435	121,660	+ 38,225
100	32,780	40,645	+ 7,865	57,860	78,265	+ 20,405	94,160	132,385	+ 38,225
500	120,780	128,645	+ 7,865	145,860	166,265	+ 20,405	182,160	220,385	+ 38,225



2 水道料金の改定にかかる これまでの経過

水道料金の検討について

- 豊岡市の水道料金・下水道使用料は、算定期間を5年間とし、5年ごとに適正な水準を検討しています。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、料金改定の検討を1年先送りしたため、今回の料金算定期間は2022年度から2026年度の5年間としています。

料金算定期間と過去の改定率

年度		2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)
改定率	水道	19.8%					据置					新型コロナにより1年先送り	17.3%				
	下水道	据置					11.3%						据置				

- 検討に当たっては、市民や有識者で構成される「豊岡市公営企業審議会」に諮問しています。今回は、2021年4月26日に水道料金・下水道使用料のあり方を諮問し、8回の審議を経て、9月30日に答申をいただきました。
- 答申の内容は「下水道使用料は据え置きが適当、水道料金は見直し（値上げ）が必要」というものです（次ページ参照）。

豊岡市公営企業審議会 答申の概要

- 料金収入は、人口、水需要とともに減少傾向にあり、現行料金では料金算定期間内に必要な費用を賄えない見込み。
- 企業債（借金）返済の資金も確保できていない。このままでは、施設等の更新時に再度多額の借金をせざるを得なくなり、将来の世代に負担を先送りすることになる。



- **料金の見直し（値上げ）が必要。**
- 料金は総括原価方式で算定する。総括原価には資産維持費を含めることとし、資産維持率は年0.5%とすること。
- 料金総収入に占める基本料金収入の割合を3分の1程度とすること。
- 従量料金は少量の区分を見直すこと。

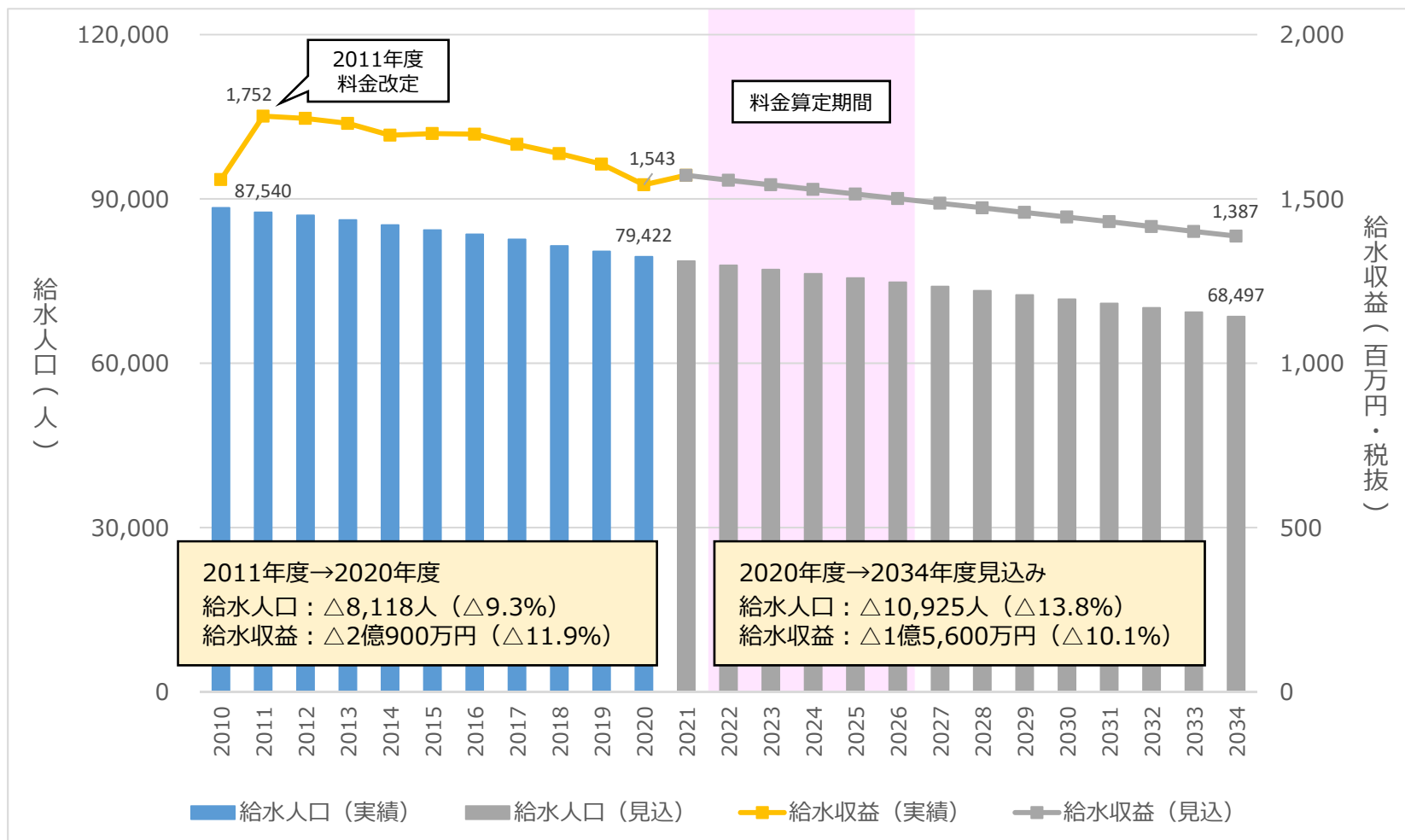
市は、この答申を受けて検討し、水道料金を値上げする方針を決定しました。



3 豊岡市水道事業の現状と課題

3 豊岡市水道事業の現状と課題

給水人口と給水収益の推移と見込み（2010～2034年度）



主に人口の減少に伴い、給水収益も減少しています。
 今後もこの傾向が続くと見込んでいます。

老朽化した管路を更新する必要があります



腐食して穴が開いた管
(出典：公益社団法人 日本水道協会)



橋下部配水管からの漏水
(2018年 豊岡市内)



市道地下埋設管からの漏水
(2021年 豊岡市内)



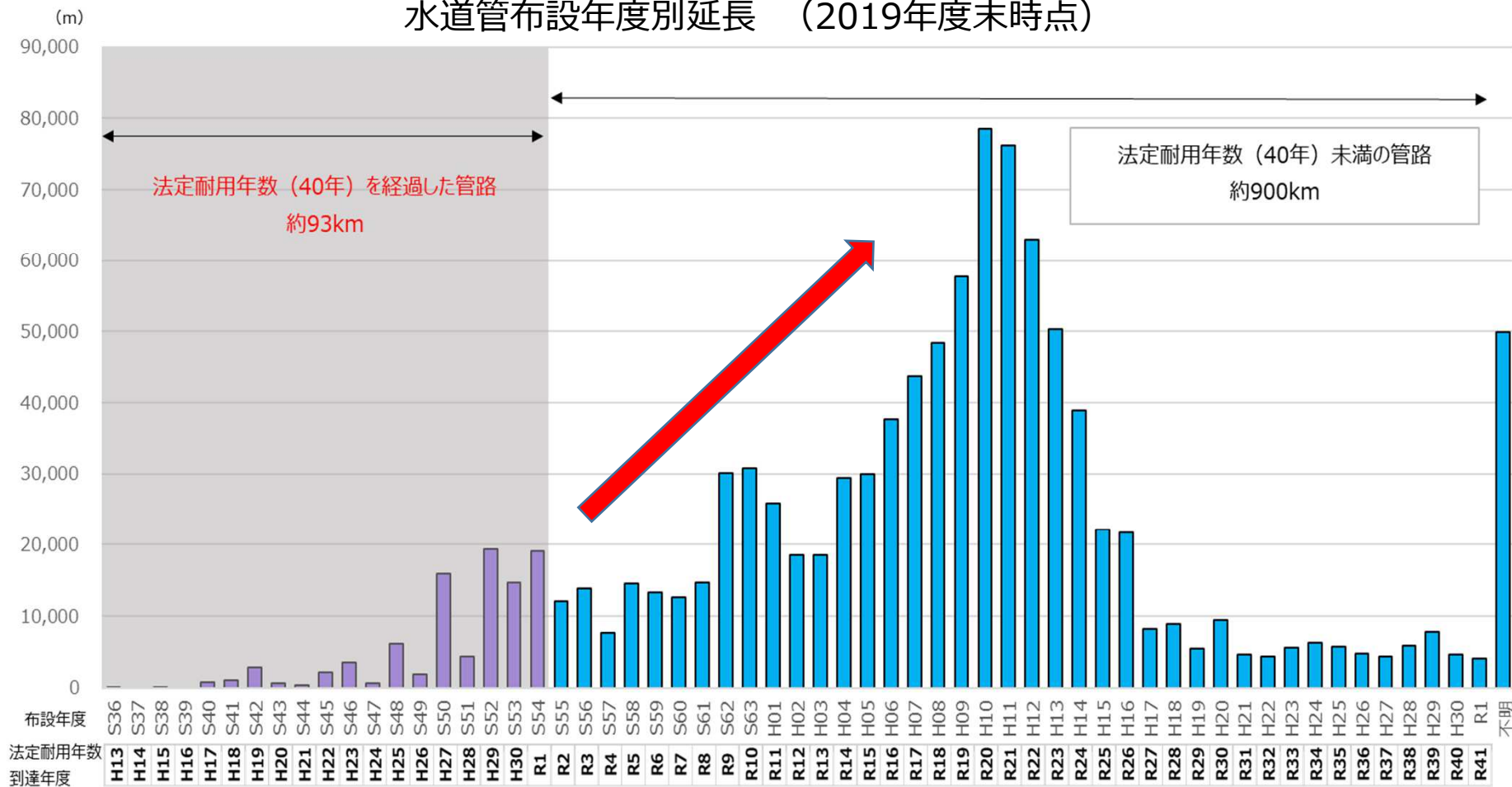
和歌山市の水管橋崩落事故
(2021年 給水応援派遣時に撮影)

- 今後、法定耐用年数を迎える管路が増えていきます。
- 老朽化した管を放置すると漏水リスクが高くなります。
- 漏水が発生すると、長期にわたる断水となる場合があります、日常生活に大きな影響を及ぼすおそれがあります。

3 豊岡市水道事業の現状と課題

法定耐用年数を迎える水道管が増えていきます

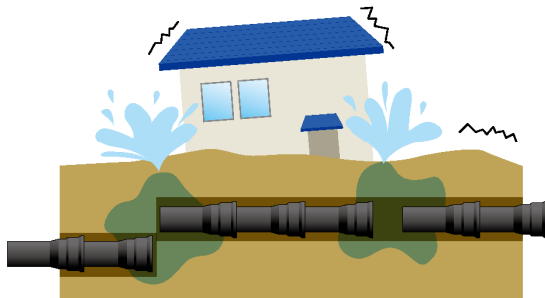
水道管布設年度別延長 (2019年度末時点)



- 昭和60年代以降に下水道の整備にあわせて更新した水道管などが、今後一斉に法定耐用年数（40年）を迎えます。
- 40年以上経過している水道管は約93kmあります。

管路・施設の耐震化を進める必要があります

古い水道管



地震の揺れで管が抜けてしまい、漏水してしまう



耐震管



地震が起きても、管が抜けない

耐震管とは：水道管の継手部分に伸縮性
があって抜けない水道管

毎年、全国各地で地震、台風、豪雨など自然災害が頻発しており、管路・施設も被災し、断水が発生しています。

【管路】

⇒主に基幹管路を中心に地震に強い耐震管への更新を進めています。

※耐震管は地震だけでなく、水害などの自然災害にも強いとされています。

【施設】

⇒基幹水道施設の計画的な施設の更新を図るため、劣化具合や耐震性を調査し、耐震性に問題のある施設の耐震化を図っています。

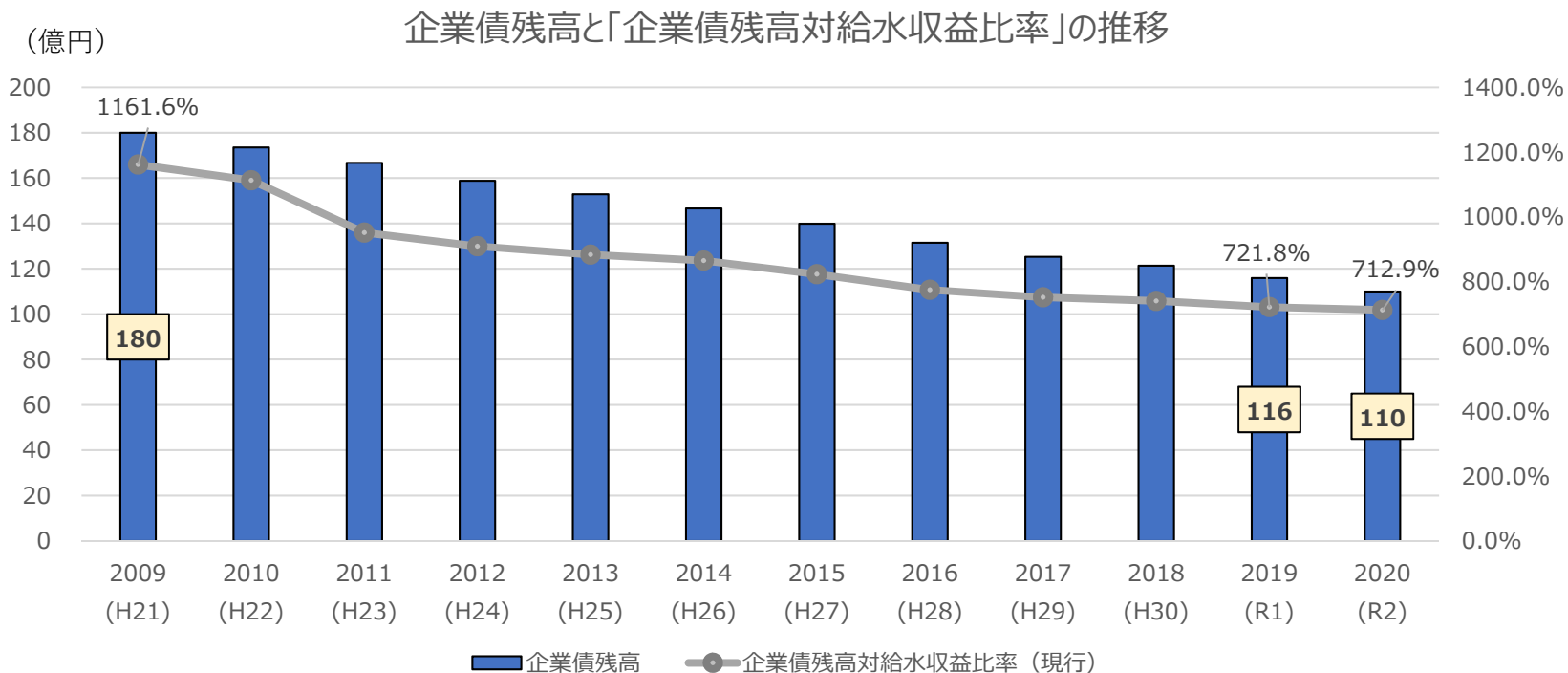
耐震化率（2019）	豊岡市	全国平均	県平均
基幹管路	16.8%	40.9%	46.5%
浄水場	54.1%	32.6%	38.2%
配水池	59.1%	58.6%	61.7%

2022年度から2026年度に予定している主な事業

- 佐野浄水場 膜ろ過設備更新（2022～2024）
（金額は見込み）
：12.3億円
- 佐野浄水場 電気設備等更新（2024～2025）
：10.5億円
- 大見塚受水池・配水池 改築事業（～2024）
：10.5億円
- 城崎・港給水区配水施設整備事業 送水管布設（～2023）
：2.2億円
- 鬼神谷配水池 耐震化（2023～2026）
：1.6億円
- 城崎大橋関連事業 配水管移設（～2023）
：3.1億円

これらに加え、老朽管更新や計器等の更新も行います。

企業債（借金）残高が多い



- 市域が広いため、多数の水道施設（浄水場32か所、配水池93か所など）、管路を有しています。
- これらを建設・更新するために多額の企業債を発行したため、企業債残高が非常に多くなっています。

※企業債残高対給水収益比率（料金収入に対する企業債残高の割合で、借金残高の規模を表す指標）

2019年度 豊岡市：721.82%（類似団体平均：371.65% 全国平均：266.61%）

⇒ **借金依存体質を解消し、将来世代へ負担を残さないようにするには、料金収入で返済用の資金を確保する必要があります。**

3 豊岡市水道事業の現状と課題

現行料金の場合の今後の収支見通し

		料金算定期間															
		決算	決算														
		R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
項目/年度		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
収益的収支(百万円、税抜)																	
収益的 収支	収入(収益)	2,275	2,170	2,190	2,148	2,128	2,106	2,071	2,048	2,017	1,988	1,960	1,910	1,867	1,815	1,777	1,749
	料金収入	1,606	1,543	1,572	1,557	1,543	1,529	1,515	1,501	1,487	1,473	1,459	1,445	1,431	1,416	1,401	1,387
	一般会計繰入金等	273	255	255	243	240	234	220	215	206	196	185	155	135	103	90	85
	長期前受金	294	280	265	259	257	255	248	244	238	234	230	224	216	210	200	193
	その他	102	93	99	88	88	88	88	88	85	85	85	85	85	85	85	85
	支出(費用)	2,014	1,967	1,988	2,006	2,037	2,126	1,979	1,924	1,855	1,853	1,829	1,826	1,813	1,856	1,805	1,816
	維持管理費	614	606	674	712	754	844	702	635	664	634	624	635	621	677	622	644
	うち非現金支出分	20	8	49	22	147	126	64	18	58	18	19	21	17	63	19	31
	減価償却費	1,187	1,166	1,136	1,133	1,138	1,153	1,161	1,183	1,093	1,125	1,117	1,104	1,106	1,096	1,100	1,091
	支払利息	212	195	177	161	144	129	116	106	98	94	89	86	86	84	84	81
単年度損益	261	204	203	142	92	△ 20	92	124	162	134	130	84	54	△ 42	△ 28	△ 67	
累積損益(利益処分後)	1,432	1,340	1,542	1,683	1,775	1,755	1,542	1,239	885	680	479	239	123	0	△ 28	△ 95	
									2022-2026 損益計			2027-2031 損益計			564		
資本的収支(百万円、税込)																	
資本的 収支	収入	378	393	1,180	570	951	1,004	863	507	559	383	437	537	434	550	441	409
	企業債	283	296	1,047	401	610	590	771	427	475	297	348	448	339	446	331	293
	一般会計繰入金等	90	92	112	119	208	243	78	80	84	86	89	89	95	104	110	116
	国県補助金	5	5	20	49	133	171	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支出	1,387	1,423	2,463	1,956	2,599	2,624	2,660	1,966	2,071	1,680	1,732	1,838	1,567	1,753	1,530	1,460
	建設改良費	561	530	1,526	979	1,570	1,595	1,632	936	1,029	673	769	968	753	964	744	666
	企業債償還金	826	893	937	976	1,029	1,029	1,028	1,030	1,042	1,008	963	869	814	789	786	795
	収支過不足額	△ 1,009	△ 1,030	△ 1,283	△ 1,386	△ 1,648	△ 1,620	△ 1,797	△ 1,459	△ 1,512	△ 1,298	△ 1,295	△ 1,301	△ 1,133	△ 1,203	△ 1,089	△ 1,051
	補てん 財源	使用額	1,009	1,030	1,283	1,386	1,648	1,620	1,797	1,459	1,512	1,298	1,295	1,301	1,133	1,105	944
翌年度繰越額	3,238	3,339	3,304	3,033	2,627	2,132	1,542	1,239	885	680	479	239	123	△ 99	△ 244	△ 386	
企業債残高	11,593	10,996	11,107	10,531	10,112	9,673	9,416	8,813	8,246	7,536	6,921	6,499	6,024	5,681	5,226	4,725	
現金預金残高	3,158	3,210	3,397	3,008	2,814	2,341	1,734	1,218	898	595	423	243	65	△ 89	△ 297	△ 459	

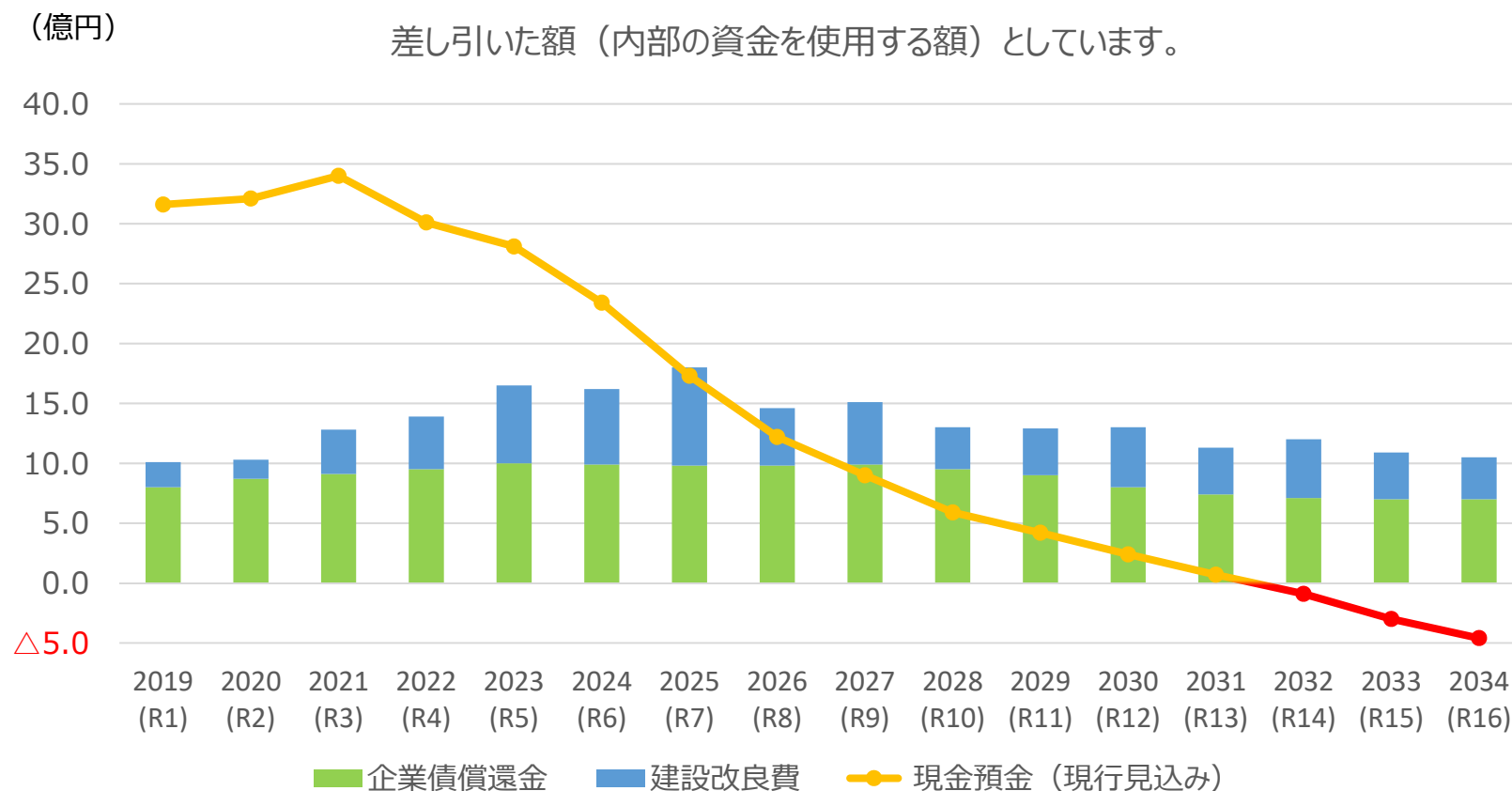
2032年度以降、慢性的な赤字となり、現金預金が枯渇する見通しです。

※今回算定期間(2022~2026)の単年度損益合計は約4億円となっているが、現金を伴わない収入である長期前受金を除くとマイナスとなる。

3 豊岡市水道事業の現状と課題

このままいくと10年後には資金不足となる見込みです

※ 企業債償還金、建設改良費は、それぞれ財源となる収入を差し引いた額（内部の資金を使用する額）としています。



このままでは、必要な工事や借金の返済ができなくなります。





4 水道事業における経費削減の 取り組みについて

民間委託、組織再編等による水道職員数の削減

業務の民間委託や組織再編による職員数の削減等、大きな効果が望める取り組みは、すでに実施しています。

【民間委託している業務】

- メーター検針業務
- 開閉栓業務
- 料金等賦課徴収業務
- 佐野浄水場運転管理業務
- 水道施設維持管理業務



【職員数の推移】

- 2005年（60人） 1市5町合併
- 2008年（44人） 企業分室を廃止
- 2011年（23人） 料金改定
- 2021年（24人）

⇒ 現在は、近隣事業体との連携により、さらなるコスト削減・業務効率化について、検討・実施・検証を行っています。

- 2020年実施：水道用薬剤共同購入（豊岡市・朝来市）
- 2021年実施：水道用薬剤、水道メーター共同購入（但馬3市2町）

水道施設の統廃合①

◆日高町小河江飲料水供給施設統合事業（2013～2015）

小河江地区（日高町）単独で実施されてきた取水・浄水・配水を、隣接する旧奈佐簡易水道（豊岡市）と統合。

（廃止施設）小河江水源、小河江浄水場、小河江ポンプ場、小河江配水池

◆但東町水石浄水場統合事業（2014～2016）

旧町境に隣接していた水石浄水場（但東町）と寺坂浄水場（出石町）を統合。

（休止施設）水石水源、水石浄水場

◆豊岡市中郷浄水場統合事業（2015）

給水区域を見直し、他の施設からの配水に切り替え。

（休止施設）中郷浄水場

水道施設の統廃合②

◆城崎町大見塚受水池・配水池改築事業（2017～）

大見塚受水池、配水池を耐震化施設に更新する際、隣接する荒船浄水場と観音浦浄水場の統合を実施するとともに、佐野浄水場からの送水量を増やし、安定供給の確保を図る。

（廃止・休止予定施設）荒船水源、荒船浄水場、荒船配水池、観音浦水源、観音浦浄水場、観音浦配水池

◆日高給水区再編事業（検討中）

神鍋水源の豊富な水を十戸方面へ供給することで清廉な水の安定供給を図るとともに、それに併せた施設の統廃合を検討している。

（廃止・休止検討施設）名色水源、十戸水源、十戸浄水場、太田減圧水槽、神鍋低区配水池、栗栖野配水池、栃本配水池、太田配水池、山宮配水池、石井配水池、十戸受水池

今後の経営について

今後も次のような取り組みにより、効率的で安定した経営に努めます。

- 法定耐用年数の1.5倍程度を目安に更新します。
⇒ 使えるものはできる限り使い続ける
- 使用量に応じ、施設の統廃合やダウンサイズを図ります。
⇒ 水需要にあわせた容量・能力の施設・管路へ
- 投資・事業費の平準化を図ります。
⇒ 更新が集中しないよう調整し、年度ごとのばらつきを抑える
- 企業債残高を減らします。
⇒ できる限り将来世代へ負担を先送りしない
- 経営戦略を定期的に見直します。
⇒ 計画と実績の比較・検証を定期的に行い、中長期的な視野に立ち、効率的な経営を行う

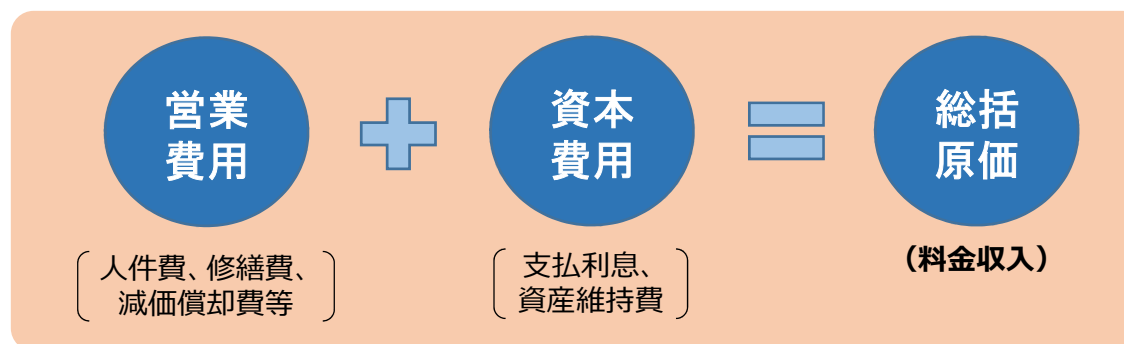


5 料金改定の考え方

- ① 料金算定期間は5年間（2022年度から2026年度）とします
- ② 料金は総括原価方式により算定します
- ③ 資産維持率は年0.5%とします
- ④ 基本料金収入の割合を3分の1程度とします
- ⑤ 従量料金は30m³までの区分の単価を引き上げます

水道料金の算定方法

- 水道料金は「総括原価方式」で算定しています。
- 総括原価方式とは、能率的な経営の下における「適正な原価（経営に要する費用）」に、「健全な運営を確保するために必要となる費用（資産維持費）」を加えた「総括原価」が、料金収入の総額と一致するように設定する方式です。**総括原価＝「使用者の方に負担していただく料金の総額」といえます。**



出典：公益社団法人日本水道協会「水道料金改定業務の手引き」

- 水道事業に必要な経費は、経営に伴う収入（料金）をもって充てなければなりません。**⇒原則、税金の投入はできません。**（独立採算の原則）
 【例外】性質上、企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費
 （例：公共の消防のための消火栓に要する経費）

総括原価には何が含まれるのか

収益的収支

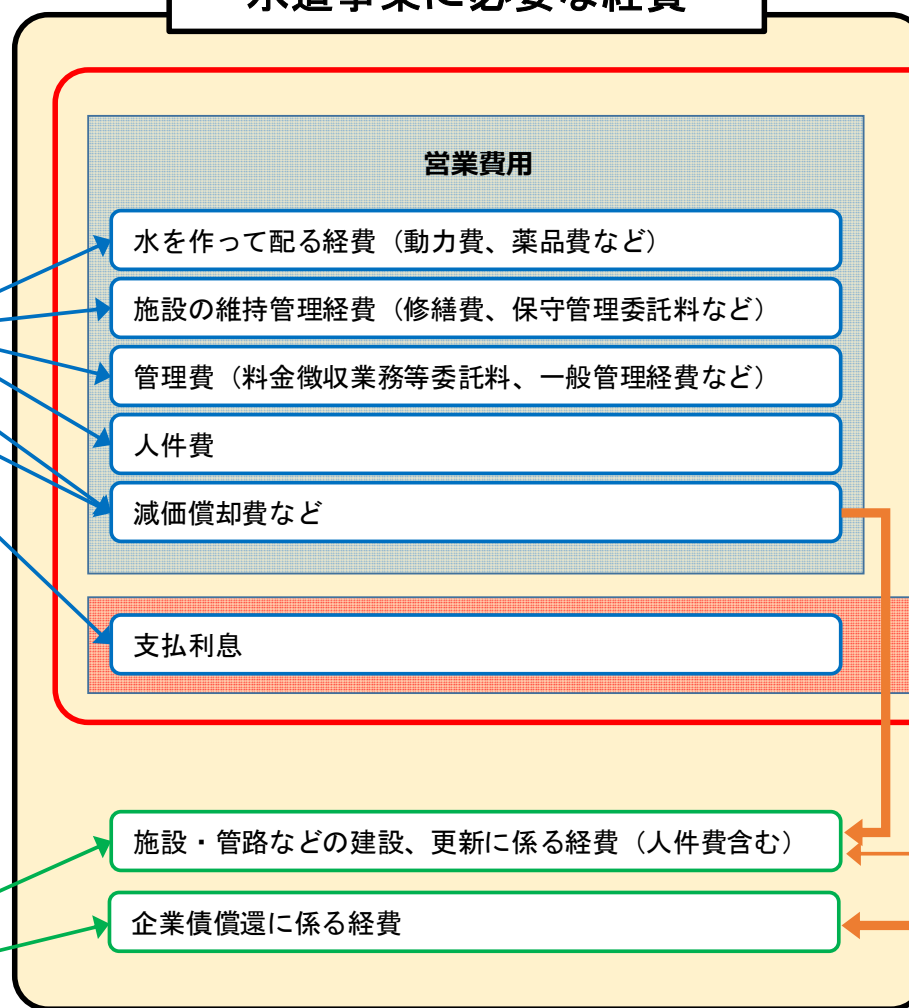
項目 / 年度	
収益的収支	収入 (収益)
	料金収入
	一般会計繰入金等
	長期前受金
	その他
	支出 (費用)
	維持管理費
	うち非現金支出分
	減価償却費
	支払利息
単年度損益	

経営に要する費用

資本的収支

項目 / 年度	
資本的収支	収入
	企業債
	一般会計繰入金等
	国県補助金
	その他
	支出
	建設改良費
	企業債償還金
	収支過不足額

水道事業に必要な経費



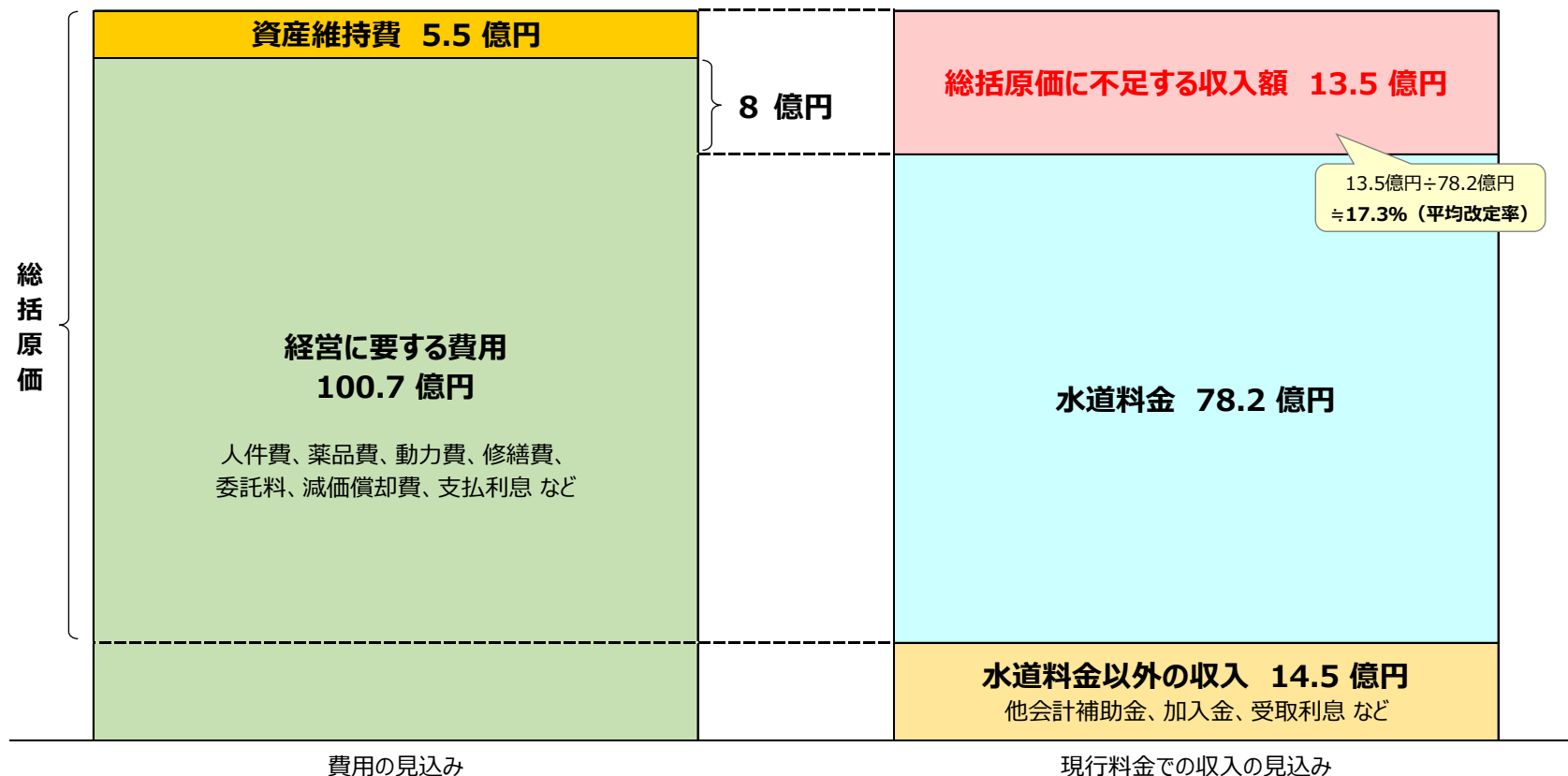
総括原価

(上乘せ分)

実際の総括原価の額は、控除項目相当額を除いた額となる。

現行の料金では総括原価を賄えない

水道料金算定期間 (2022年度から2026年度) の見込み



- ・ 経営に要する費用に対して料金収入が不足する額 8 億円
 - ・ **企業債 (借金) 返済用資金の確保のため** 資産維持費として計上する額 5.5億円
- 現行の料金では、これらの合計 13.5億円 が不足します。
この不足を解消するために、**約17.3%の水道料金の値上げが必要です。**

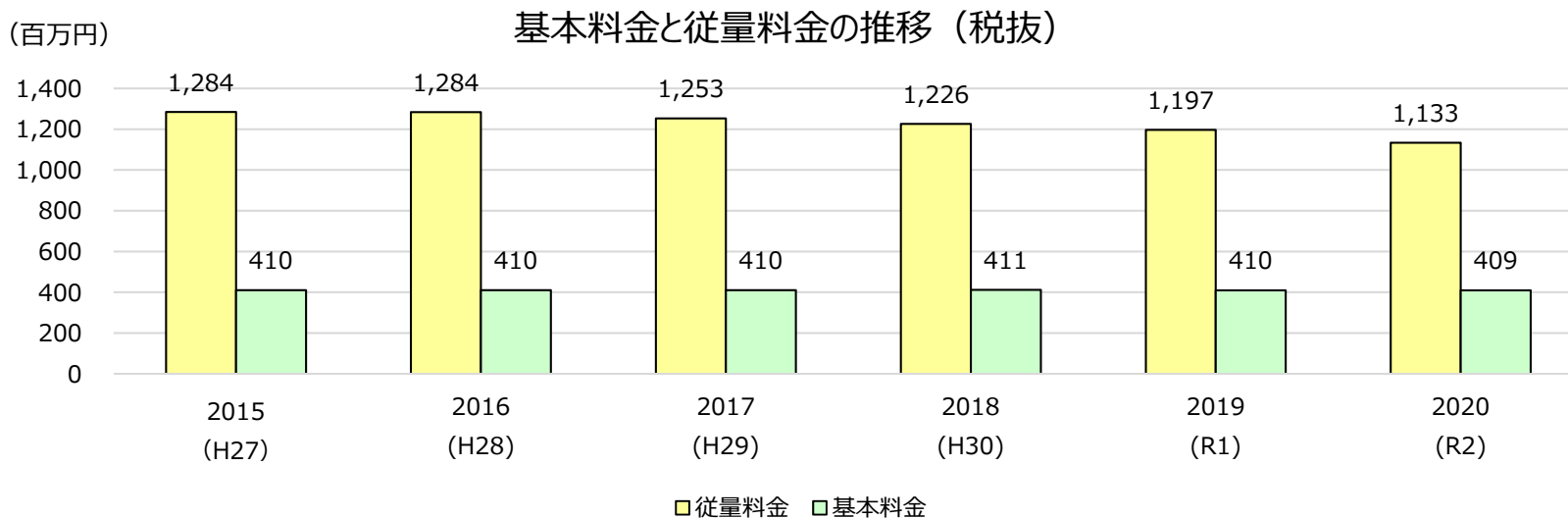
資産維持費の必要性について

- 資産維持費とは、給水サービス水準の維持向上及び施設実体の維持のために事業内に再投資されるべき額で、施設の建設、改良、再構築及び企業債の償還に必要な所要額とされるものです。
 - 総括原価に資産維持費を含めない場合は、料金収入で企業債（借金）の返済を行うことができません。返済には将来の施設の更新のために積み立てていた資金を充てることになり、その分、実際に施設を更新する際に借金せざるを得なくなる、つまり、将来の世代に負担を先送りすることになります。
- 豊岡市公営企業審議会からは、できる限り将来世代へ負担を先送りしないこと、現行の料金体系とのバランス等を考慮し、総括原価に資産維持費を含め、資産維持費を算出するための「資産維持率」は、年0.5%が適当であるという答申をいただき、市で検討した結果、答申どおり、**総括原価に資産維持費を含め、資産維持率は年0.5%とすること**としました。
 - なお、資産維持率を年0.5%とした場合の資産維持費の額は5年間で約5.5億円で、同じく5年間で約50.9億円ある借金の返済の全てを賄えるわけではありません。このため、今後も適切に借金をしながら事業を進めていくこととなります。

基本料金と従量料金の割合を見直します

- 豊岡市の水道料金は、基本料金と従量料金の二部料金制となっています。

種別	定義	対象となる費用
基本料金	使用水量の有無に関わらず、水道メーター口径に応じて水道使用者に負担をお願いする料金	水道メーター設置費 検針徴収経費 等
従量料金	使用水量に応じて水道使用者に負担をお願いする料金	動力費・薬品費 等



従量料金収入は減少傾向にありますが、基本料金収入は安定しています。
基本料金は水需要の影響を比較的受けにくいといえます。

基本料金と従量料金の割合を見直します

- 基本料金収入は使用水量の増減の影響を受けにくいいため、料金総収入に占める基本料金収入の割合を上げると経営はより安定します。
- 固定的な費用が全体の9割以上を占めており、これをすべて基本料金にすると基本料金が著しく高額になり、使用者の方への影響が大きくなります。

⇒このため、

現在4分の1程度である料金総収入に占める基本料金収入の割合を、3分の1程度となるように設定し、各口径概ね均等な率で引き上げます。

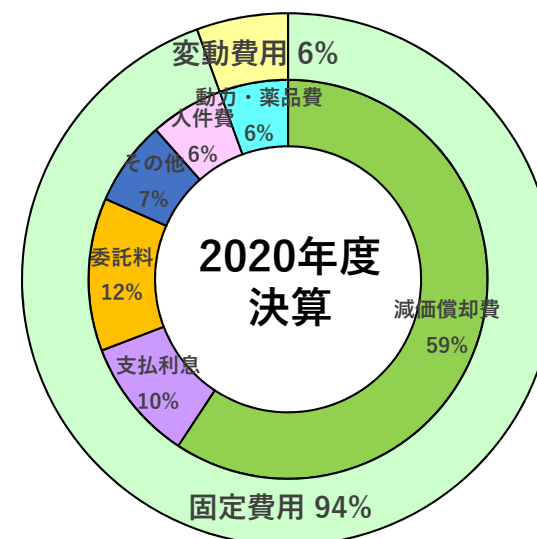
(2020年度決算より)

○費用に占める固定費用・変動費用の割合
→固定費用 約94% : 変動費用 約6%

↓

費用の性質に応じ、固定的な費用をすべて基本料金にすると基本料金が著しく高額になり、使用者の方への影響が大きくなるので、調整した料金体系としています。

○料金収入に占める基本料金と従量料金の割合
→基本料金 約27% : 従量料金 約73%



逦増型従量料金の見直し

- 従量料金は、使用水量が多くなるほど単価が段階的に高くなる「逦増型」を採用しています。

従量料金の計算方法（現行単価、税込）

使用水量	現行単価 (税込)	(10m ³ 使用の場合)	(30m ³ 使用の場合)	(500m ³ 使用の場合)
1~10m ³	66 円	66 円×10m ³ = 660 円	66 円×10m ³ = 660 円	66 円×10m ³ = 660 円
11~20m ³	132 円		132 円×10m ³ = 1,320 円	132 円×10m ³ = 1,320 円
21~30m ³	137.5 円		137.5 円×10m ³ = 1,375 円	137.5 円×10m ³ = 1,375 円
31~50m ³	154 円			154 円×20m ³ = 3,080 円
51~100m ³	214.5 円			214.5 円×50m ³ = 10,725 円
101m ³ ~	220 円			220 円×400m ³ = 88,000 円
		合計 660 円	合計 3,355 円	合計 105,160 円
		1m ³ 当たり 66.0 円	1m ³ 当たり 111.8 円	1m ³ 当たり 210.3 円

たくさん使うほど、1m³当たりの料金が高くなります。

逦増型従量料金の見直し

- 逦増型従量料金は、過去に、主に大口需要者の使用水量の抑制を図ることを目的として全国的に導入された考え方ですが、水需要が減少していくなか、導入当初の目的が薄れています。
- また、従量料金は、「1立方メートル当たりの単価を使用水量にかかわらず均一」とすれば、公平性を確保できるという考え方もあります。
- これらのことから、逦増型従量料金の見直しを検討する必要があると考えています。ただし、大幅な見直しは使用者の方への影響が大きいため、段階的に見直していきたいと考えています。

⇒ 30m³までの区分の単価を引き上げ、区分ごとの単価差を小さくします。

現行の従量料金 (1 m ³ につき)		改定案の従量料金 (1 m ³ につき)		
区分	用途 一般	区分	用途 一般	現行との差
10m ³ までの分	66円	10m ³ までの分	82.5円	+16.5円
10m ³ を超え20m ³ までの分	132円	10m ³ を超え20m ³ までの分	137.5円	+5.5円
20m ³ を超え30m ³ までの分	137.5円	20m ³ を超え30m ³ までの分	143.0円	+5.5円
30m ³ を超え50m ³ までの分	154円	30m ³ を超え50m ³ までの分	154円	-
50m ³ を超え100m ³ までの分	214.5円	50m ³ を超え100m ³ までの分	214.5円	-
100m ³ を超える分	220円	100m ³ を超える分	220円	-



6 値上げするようになります

6 値上げするようになります

値上げした場合の収支見通し

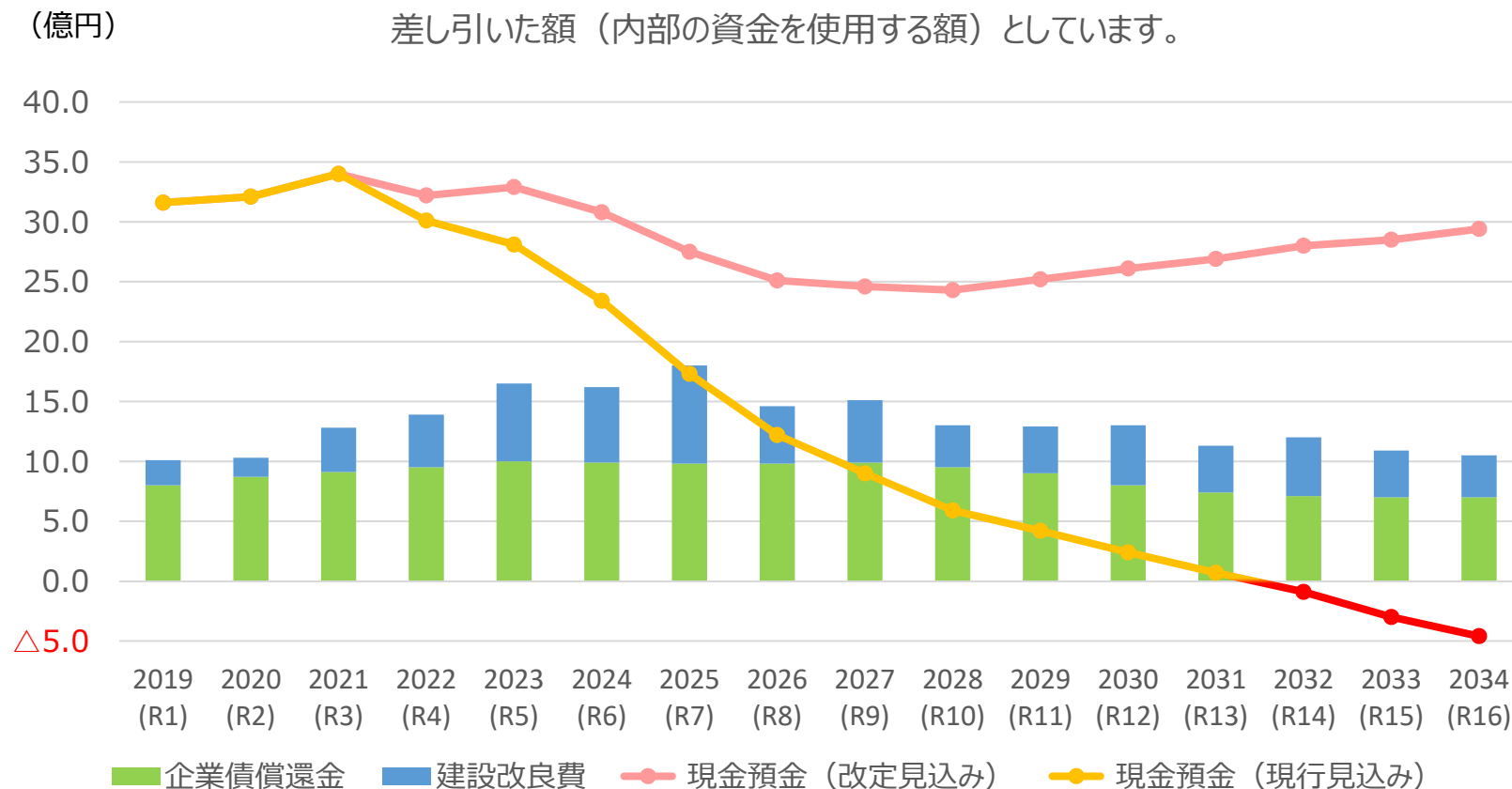
		料金算定期間															
		決算	決算														
収益的収支(百万円、税抜)		R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
項目/年度		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
収益的 収支	収入(収益)	2,275	2,170	2,190	2,415	2,395	2,376	2,345	2,324	2,291	2,259	2,228	2,175	2,131	2,075	2,035	2,004
	料金収入	1,606	1,543	1,572	1,825	1,814	1,803	1,792	1,781	1,764	1,748	1,731	1,715	1,697	1,680	1,662	1,645
	一般会計繰入金等	273	255	255	243	236	230	217	212	203	192	182	152	132	100	87	81
	長期前受金戻入	294	280	265	259	257	255	248	244	238	234	230	224	216	210	200	193
	その他	102	93	99	88	88	88	88	88	85	85	85	85	85	85	85	85
	支出(費用)	2,014	1,967	1,988	2,006	2,037	2,126	1,979	1,924	1,855	1,853	1,829	1,826	1,813	1,856	1,805	1,816
	維持管理費	614	606	674	712	754	844	702	635	664	634	624	635	621	677	622	644
	うち非現金支出分	20	8	49	22	147	126	64	18	58	18	19	21	17	63	19	31
	減価償却費	1,187	1,166	1,136	1,133	1,138	1,153	1,161	1,183	1,093	1,125	1,117	1,104	1,106	1,096	1,100	1,091
	支払利息	212	195	177	161	144	129	116	106	98	94	89	86	86	84	84	81
単年度損益	261	204	203	409	359	250	365	400	435	406	399	350	317	219	229	188	
累積損益(利益処分後)	1,432	1,340	1,542	1,949	2,306	2,555	2,614	2,587	2,504	2,569	2,636	2,660	2,805	2,844	2,955	3,067	
									2022-2026 損益計			2027-2031 損益計			1,907		
資本的収支(百万円、税込)																	
項目/年度		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
資本的 収支	収入	378	393	1,180	570	951	1,004	863	507	559	383	437	537	434	550	441	409
	企業債	283	296	1,047	401	610	590	771	427	475	297	348	448	339	446	331	293
	一般会計繰入金等	90	92	112	119	208	243	78	80	84	86	89	89	95	104	110	116
	国県補助金	5	5	20	49	133	171	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支出	1,387	1,423	2,463	1,956	2,599	2,624	2,660	1,966	2,071	1,680	1,732	1,838	1,567	1,753	1,530	1,460
	建設改良費	561	530	1,526	979	1,570	1,595	1,632	936	1,029	673	769	968	753	964	744	666
企業債償還金	826	893	937	976	1,029	1,029	1,028	1,030	1,042	1,008	963	869	814	789	786	795	
収支過不足額	△ 1,009	△ 1,030	△ 1,283	△ 1,386	△ 1,648	△ 1,620	△ 1,797	△ 1,459	△ 1,512	△ 1,298	△ 1,295	△ 1,301	△ 1,133	△ 1,203	△ 1,089	△ 1,051	
補てん 財源	使用額	1,009	1,030	1,283	1,386	1,648	1,620	1,797	1,459	1,512	1,298	1,295	1,301	1,133	1,203	1,089	1,051
	翌年度繰越額	3,238	3,339	3,304	3,298	3,158	2,933	2,614	2,587	2,504	2,569	2,636	2,660	2,805	2,844	2,955	3,067
企業債残高	11,593	10,996	11,107	10,531	10,112	9,673	9,416	8,813	8,246	7,536	6,921	6,499	6,024	5,681	5,226	4,725	
現金預金残高	3,158	3,210	3,397	3,217	3,288	3,083	2,747	2,506	2,459	2,426	2,522	2,607	2,691	2,797	2,846	2,939	

赤字が解消され、現金預金にも余裕が生まれます。

6 値上げするところあります

現金預金残高と企業債償還金、建設改良費使用額の見込み

※ 企業債償還金、建設改良費は、それぞれ財源となる収入を差し引いた額（内部の資金を使用する額）としています。



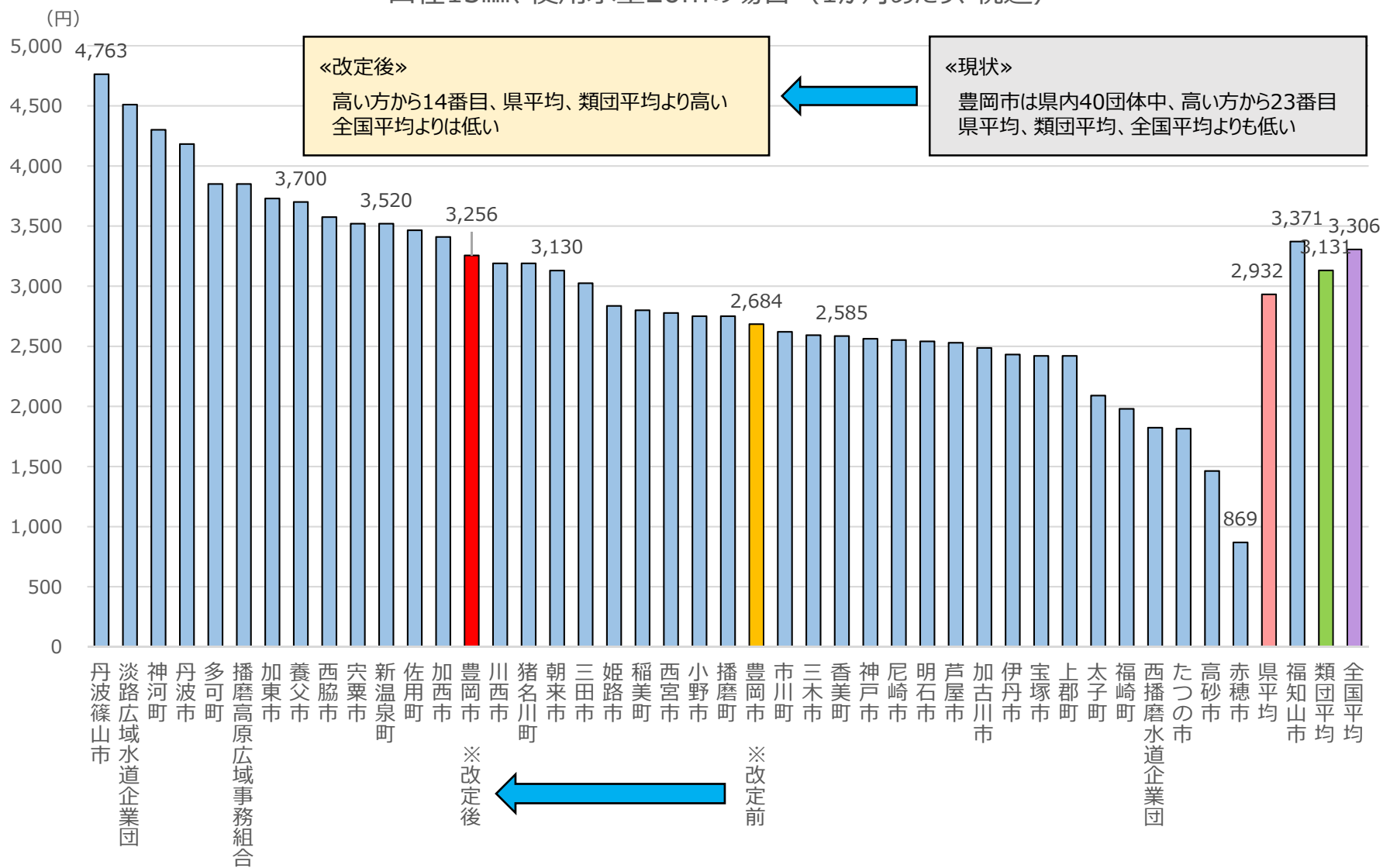
必要な工事や借金の返済ができるようになります。



6 値上げするところあります

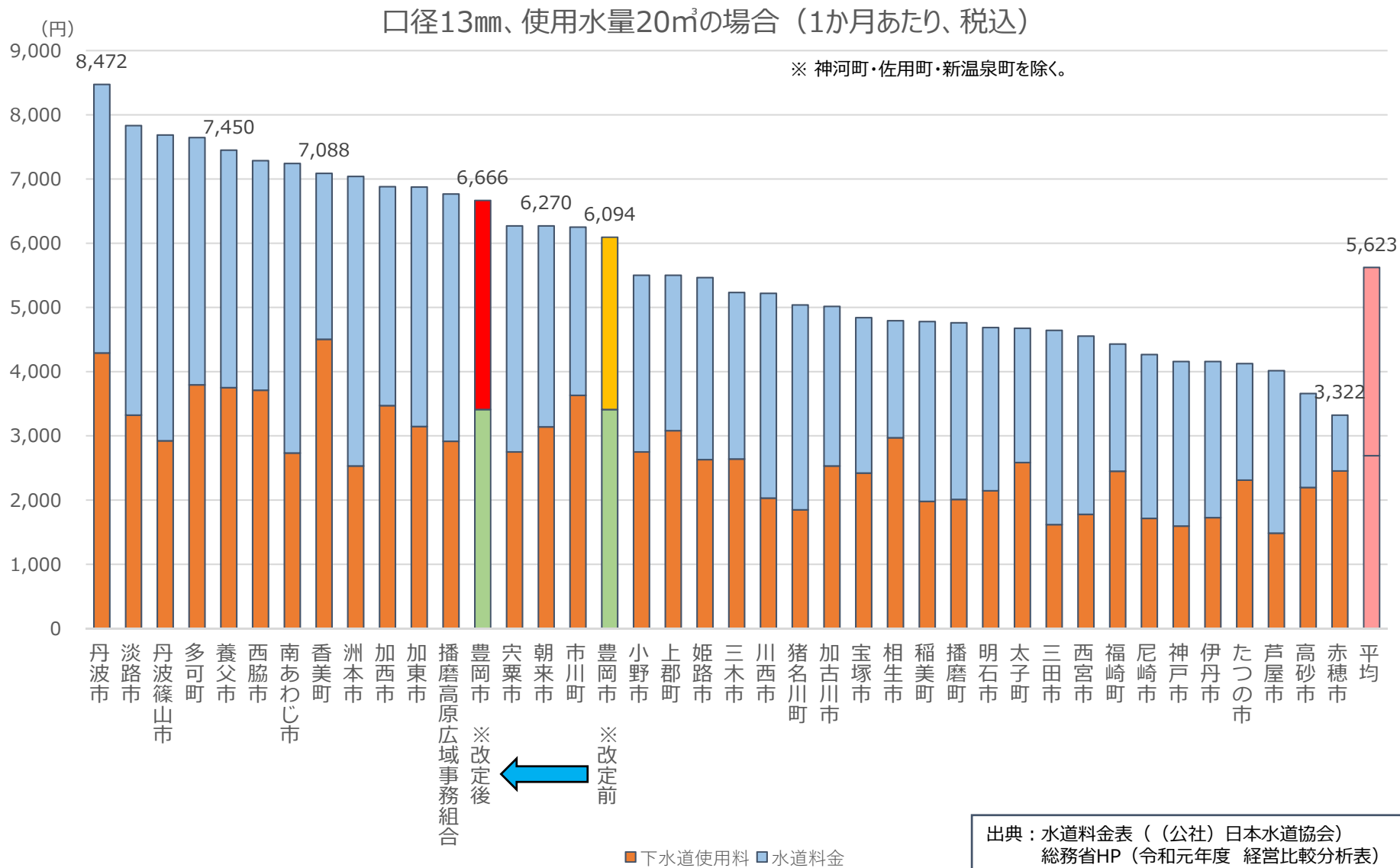
(参考) 県内 水道料金の比較 (2020年4月1日時点)

口径13mm、使用水量20m³の場合 (1か月あたり、税込)



6 値上げするところあります

県内 水道料金＋下水道使用料の比較（2020年4月1日時点）





7 今後の予定

パブリックコメントを実施します

- 募集期間
11月1日（月）から 11月15日（月）（必着）まで
 - 意見の提出方法
持参、郵送、メール、FAX
 - 1 様式は任意ですが、必ず氏名・住所・連絡先・年齢を記載してください。
 - 2 資料および意見様式は、豊岡市ホームページ上で掲載するほか、水道課、総務課、各振興局地域振興課窓口にも備え付けています。
 - 3 提出された意見を取りまとめ、これに対する考えを、後日、市ホームページで公表します（個別には回答いたしません）。
- ※ 郵送の場合は、水道課へ
〒668-0061 豊岡市上佐野1788番地の3
豊岡市役所上下水道部水道課 宛
- FAX : 0796-24-2985 メール : suidou@city.toyooka.lg.jp

おわりに

水道は、安全・安心な生活に欠かすことのできないライフラインであり、将来にわたって安定して事業を継続していく必要があります。

そのためには、適切な水準の料金収入の確保が必要不可欠です。

今後も、能率的な経営を心掛けてまいりますので、このたびの水道料金の改定に、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

豊岡市上下水道部水道課

TEL : 0796-22-5377 FAX : 0796-24-2985